

# 移動型の観光案内オフィス導入

## 最新技術で情報提供



外国人観光客のためにスペインのマドリッド市がまず力を入れたのは、情報と言語の大幅拡充だった。独自のTV放送も組み込んだ観光情報サイトesMADRID.comしかり、市内に六カ所あるツアーリスト・センターしかり。現在、スペイン語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ブルガリ

.....  
ワゴン車を改造し移動できるマドリッド市の観光案内所「ツアーリスト・インフォメーション・モバイル・オフィス」©Ayuntamiento de Madrid

### スペイン

ア語、ロシア語、中国語、日本語などでサービスを行っている。

数カ月前からはワゴン車を改造し

た「ツアーリスト・インフォメーション・モバイル・オフィス」も導入。点在する観光スポットを時間ごとに移動し、インターネットやデジタルサテライト放送などの最新技術を使った手法で視覚的、革新的に情報を提供している。

一方、市が催行する「外国語ツアー」も大人気。ガイドブックには載っていない知ら

れぬマドリッドを、政府公認のスペイン人

ガイドが七カ国語で案内するというもの。母国語で説明を聞きながら、たっぷり九十分間の散策が楽しい。値段はなんと四百円弱。合わせて十五ルートが設けられている。最大の懸案だった安全

面も、ここ五年で著しく改善された。パトロール警官を数千単位で増員したことで、悪名高かった首絞め強盗が激減。また、警察署内に設置された「外国人旅行者アテンションサービス」では、

多言語による二十四時間の被害届け受付、専門家による心理ケア、クレジットカードの停止や大使館・家族への連絡代行、盗品捜索の手配などが行われている。  
(マドリッド・松嶋公美)